

令和 8 年度第 1 回 支えあいのまちづくり協議体(月島地域) 実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体(月島地域)」の令和 8 年度第 1 回目を、月島地域で開催しました。

1 実施日

令和 8 年 5 月 29 日(金) 14:30~16:00

2 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 12 名

3 内容

- ・各メンバー近況報告
- ・前回の振り返り
- ・意見交換

4 出席者近況報告

地域の様子や高齢者の現状について、各々から報告を行った。

- ✓ マンションの中で見守りをしているが、急激な温度変化などで自律神経が乱れている影響か体調が悪い人が多い。
- ✓ 体調を整えるために筋トレを始めた。以前かかわった人の顔も見られ、会話もしている。
- ✓ 今年度の晴海おとしより相談センターの職員は全員晴海地域の担当がはじめて。「晴海まち歩き MAP」を活用し、職員で晴海のまち歩きをしようと考えている。
- ✓ 10 月 25 日(日)に健康福祉まつりを開催する予定。前日には大江戸花火大会も開催される予定で、地域住民がいきいきと活動をしているように感じる。
- ✓ 4月から部署異動となり、地域住民と交流する機会が増えた。今後も様々な人と関わりながら交流を深めていきたい。
- ✓ 4月から勝どきダイルームで地域活動を行いたい、という相談を受ける機会が増えた。月島地域の地域活動が活発化していると実感した。
- ✓ 自分の住んでいる住宅にまち歩き MAP を置いてもらったところ、3 分の 1 ほど数が減っており嬉しかった。
- ✓ 急遽入院となり、大きな支払いが発生した高齢者等に対して介入する機会が増えたように感じる。社会福祉協議会等と連携しながら支援している。
- ✓ 高齢者の熱中症対策が重要と感じている。一人暮らしの高齢者に対し水分補給を呼びかけてはいるが、地域住民の見守りや涼み場所の確保を強化する必要があると感じる。
- ✓ 梅雨になると家にこもる高齢者も多い。活動力や気持ちは下がる時期でもあるため、デイサービスや通いの場への参加の促進が重要と感じる。
- ✓ AI は便利であるが、全てを信じると思わぬ勘違い等を引き起こす場合がある。高齢者にスマホを教える時も含め、便利さとその裏にある注意点をしっかり伝える必要があると感じる。
- ✓ マンションの自治会活動を行っている。災害時に助け合えない環境を改善するため、マンション内でシニア向けのカフェを開始することとした。

5 意見交換

① 次回スマサポ祭りについて

【会場】

晴海スカイリンクタワーで決定。集会室を借りて行う。

【時期】

第2回協議体(8月末予定)の内容をふまえて開催することとした。

開催日時は9月8日、9日、11日のいずれか、13時30分~14時頃から開始し約2時間ほどを予定。

【内容】

前半:消防隊に防災アプリなど消防とスマホを絡めた内容や防火防災診断について話をしてもらう。

後半:スマホ相談を行う。前回と同様に、相談者1名に対し協議体メンバー2~3名で対応。スマホささえ隊メンバーにも参加を依頼。1時間を予定しているが、1人に対して対応する分数の枠を決めたり、事前に参加者には聞きたい内容を決めておいてもらうなどの対応が必要。

→スカイリンクタワーの自治会に(可能な限り協議体メンバーも参加の上)直接説明に行き、詳細を決める。

② 協議体・スマサポまつりの広報について

・PIAZZA や社協 SNS、ニジノコラジオ等を活用。

ニジノコラジオについては、8月19日(水)放送時に2層協議体メンバーが出演する。

③ 晴海まち歩きマップの活用方法について

・各所の在庫がなくなり増刷を検討しているため、反響を確認。

→マンションの住民や通いの場参加者などに配架し、見やすい、マップがあると今どこを歩いているか分かりやすい、などの感想をもらえた。また、はるみらいの足湯など、晴海の魅力を知ってもらう機会となった。

→以上をふまえて、第2版を発行・増刷する予定。

【活用方法】

・晴海まち歩きマップを見ながら晴海を歩き、写真を撮ってもらい勝どきダイルームなどで写真展を行う。

・撮影した写真を SNS やホームページに掲載する。

・撮影した写真をもちより、住民同士で交流する機会につなげる。

・高齢者でも参加しやすい SNS 以外の共有の場を設ける。

・晴海の盆踊りなど多くの人が参加する地域のイベントに絡めて活用する。

→ほかにも活用案があれば次回の協議体やLINEで提案してもらう。

6 次回の予定

次回の協議体は8月を予定。